

平成 26 年 10 月 2 日

南 の 風 8 2

南部ミニバスケットボール連盟
会 長 藤原 敬一

ドリブルドライブモーションオフENSEの続きです。

最も大事なことは、81号にも書きましたがこのオフENSEの全体像を選手に示すことです。このオフENSEは、フォーメーションやパターンが決まっているものではないので、特に丁寧に5人の動き方を指導しなければなりません。(チャンスがあったら1対1を仕掛けましょう。)

まず一般的な4アウトのドリブルドライブモーションで説明します。図解できませんので、できるだけ詳しく動きを書きたいと思います。アライメントを書きます。(説明時の約束は、フロントコートで向かう形でエンドラインの方向に攻めていると仮定します。(ディフェンスはマンツーマンです。))

ワンガードです。両ウイングとビッグコーナーに一人、ショートコーナーに一人です。攻め方です。ガードが向かって右エルボーにストレートドリブルです。右ウイングは、ボールミートをするかダミーから、スペースのあるペイントエリアにバックドアカットです。ボールが入ればもちろんショットに行きます。ディフェンスが反応すれば、Vカットからウイングでボールを受けます。ドリブラーはディフェンスを抜くことができれば、ドライブからショットです。ヘルプがくれば、キックアウトすることができます。(一つのオフENSEを指導する時に大事なことは、「形を追いすぎない」ということです。) オフENSEは、なるべくシンプルの方が得点する可能性が高くなります。話を戻します。ガードのドリブルの後、右ウイングはVカットからボールを受け、左手でフリースローラインヘドリブルします。この時の五人の動きを書きます。ガードドリブラーはパスの後、右ビッグコーナーにカットします。左ウイングは、ガードポジションを埋めるようにリプレースします。左のビッグコーナーのプレーヤーは左ウイングにVカットです。ショートコーナーのポストマンは、ドライブスペースをつくるために逆サイドヘ移動です。(チャンスがあればいつでもボールを受ける体勢をつくります。) フリースローラインヘドリブルした右ウイングは、ドライブできそうならリングに向かいます。だめならVカットしてきた左ウイングにパスです。その後、左ビッグコーナーにカットします。ボールを受けた左ウイングは、ミドルの広いスペースを狙ってドライブを仕掛けます。(この時、右ショートコーナーにいたポストマンは、逆サイドに移動します。スペースをとるためです。) ミドルへのドライブペネトレイトに対して、右ビッグコーナーのディフェンスがヘルプに来れば、右ビッグコーナーのプレーヤーにキックアウトします。もしキックアウトしたなら、逆サイドのビッグコーナーに移動します。ボールを受けたコーナーのプレーヤーは(もちろんスリーポイントでも構いませんが)ここでは、ドライブモーションを意識して広いスペースに1対1を仕掛けましょう。チャンスがなければ、いずれかのプレーヤーにキックアウトします。左のビッグコーナーにいたプレーヤーは、左ウイングに上がります。コーナーのディフェンスや、ガードのディフェンダーに対応された時は、ガードにキックバックします。

こうして5人でスペースをつくりながらドライブを中心して攻めます。いずれにもチャンスがなければ、最初のポジションに戻ります。簡単に紹介しました。オプションはいろいろあります。それぞれのチームでアレンジしてみてください。キーワードは「形」を追いすぎないことです。